

# ヤマハニュース 5

YAMAHA NEWS No.155 1976 MAY

いよいよスタート!

ヤマハ夏の陣

どんと行こう大作戦



特集・走りさわやかニューライフバイク  
ヤマハトリアルTY175 新発売

## さつき 皇月のみちのく



スポーツランド菅生から見る蔵王連山の頂には厳しかった冬の残雪が初夏の陽さしを浴びて輝き、あたりの草木も濃緑に染まりはじめて、再びよみがえった全能の神々の息吹きを感じる今日この頃のみちのくです。

街にはGTやGRの若者がさっそうと走りまわり、奥さまやお嬢さんたちがま新しいチャビイで通学やシヨッピングしている姿がひとときわ目につく、ヤマハファンの特に多い東北の頼もしい姿です。

これもフレンド店のみなさまが、永い冬の間一生懸命に原付免許教室を開き、見込み客への積極的な訪問予約活動を展開された努力のたまものでしょう。

「春のヤマハまつり」ヤマハフェスタも全国各地に負けぬよう五月いっぱいぎつしりとスケジュールが組まれ、商戦もいよいよ活発なみちのくの五月です。

仙台支店・営業課・森 正博課長

### ★ 表紙のことば ★

この春バイクファンのお話を一手に集めて新登場したヤマハスポーツシリーズ。注目のビッグロードスターGX750への関心も日ごとに高まる一方ですが、同時に見逃せないのがヤマハ伝統の2サイクル・スポーツシリーズRDに寄せられるお客さまの大きな信頼です。中でもRD400は、中型二輪免許フルサイズとして「走り

を楽しむ」若者たちの期待もひととき大きいものがあります。RDといえばシャープなレスポンスと軽快なフットワーク、つづら折れのスカイラインなどでは、まさに水を得た魚。さわやかな五月の風に乗って、こんなバイクの楽しさを満喫するお客さまが、またグンと増えることでしょう。

ヤマハ夏の陣

# どんと行こう 大作戦

期間 5月1日～7月31日

初夏から夏へ。バイクシーズンたけなわのこの好機をとらえ、お店の業績をさらに大きく伸ばす「ヤマハ夏の陣・どんと行こう大作戦」がスタートします。期間は5月1日から7月31日までの3ヵ月間。どうぞこの夏のセールキャンペーンにご参加ください。詳しくは担当のセールスマンがご案内申し上げます。



特集 \*走りさわやかニューライフバイク

# 楽しもう、ゆとりのツーリング

青い空、白い雲、緑の大地。旅ごころおおいにそそられる五月です。初夏の日差しを全身に浴びて、風薫る郊外に出てみませんか。

一人でもよし、仲間とでもまたよし。ツーリングの季節たけなわのきょうこの頃です。ビッグバイクの雄大な走り、ミニバイクの気軽なツアー。それぞれの“走りの世界”が、生活に新しいドラマをつくります。

天気の良い日はバイクに乗ろう！——



堂々たる走りの「G X 750」。それはビッグマシンならではのもの。DOHC 3気筒、シャフトドライブのメカニズムから生まれる走行フィーリングは、その乗りやすさ、安全性において新しい走りの世界を創るものだ。



DOHC8バルブのカブよい鼓動を全身でうけとめてクルージング走行。車上から見る景色は若みどり一色。スピードをセーブし、のんびりと流すツアー。この余裕が楽しさと安全をむすびつけて明日の活力を生む。



陽気のいい5月。さあ何処へ行こう。RDの実力が楽しめるワインディングロードを走って先輩の家を訪ねるか。整備の行届いたマシンと、きちんとした服装。先輩とバイク談義に花を咲かせるのもよいものだ。

生活の足として働くバイク、レクリエーションの幅を広げるバイク、その使い方はどうあれ、ゆとりをもつてバイクに乗りだすと、全く気づかなかつた自分自身の中のスポーツどころがいきいきと甦えてくることに気づきます。これがバイクの「走りの世界」であり、本来バイクがもっているスポーツ性というものでしょう。

スポーツ性といえば、エンジンをのせた物の中では、飛行機を除けばバイクのみが自からバンクしてカーブする乗物です。

こうした本質から、バイクは独自の「走りの世界」をもち、人車一体の乗車感に限りない魅力が見出されるわけです。実際、わが身の分身のようにマシンをコントロールする楽しさは、男女の別なく年齢を越えて語り合えるものです。

セルで、キックでエンジンに息吹きを与え、その確実な鼓動を全身でうけとめながら、流れるようなコーナリング……。人間とマシンとの無言の会話がかわされ、さまざまな情景が作りだされます。

遠乗りでかわされるVサインも、バイク仲間ならではのもの。バイクを共通の仲立ちとして、いま出会ったばかりの見知らぬ者同士が、すぐにうちとけて楽しい会話がかわされるこのコミュニケーションこそ、「バイクでニューライフ」の世界でもあります。

陽気のよい五月、お客さまをどうぞ走りさわやかな安全ツーリングへご案内ください。

## ●お客さまにぜひどうぞ●

# ツーリング・ワンポイント・アドバイス

★気ままな一人旅・ソロツーリングは、なんといっても安全第一が鉄則。みずから危険を求めている冒険は厳禁。ソロのトレールランやトライアルランでは特に注意。山の中でたった一人で困らぬように、簡単な応急修理の知識や技術も日頃から養っておきたいもの。

★グループで出かけるマストツーリングなら、一集団の台数はせいぜい四〜五台。

★マストツーリングでは、同行バイクのバランスが大切。50ccと750ccの同行などは避けたいもの。また先頭としんがりにはベテランが受持ち、初心者をはさむ隊列を組むのは常識だが、ペースも初心者に合わせることを。

★隊列は、信号待ちで離れぬようあまり間隔を開かず。減速やカーブ、停止の前には必ず後続メンバーに合図を。

★高速道路では堂々と走行車線の中央を走ろう。遠慮して脇に寄りすぎていく同一車線がより危険。高速道路を走れるバイクは、自動車なのだ。

★高速道路から降りた直後の一般道路は特に注意。スピード感覚のマヒで、知らず知らずのうちにオーバースピードになりがち。

★日帰り、宿泊いずれの場合も一日の走行距離は、休憩や観光、ロ

スタイムを考慮してひかえ目に。

★給油は単なるガスチャージだけではない。休憩、バイクのチェックとして大切なのは、道路状況、見どころ、名物など現地の生きた情報の収集源としよう。

★コースやプランは周到に、地図は必ず携行しよう。思わぬ所でガイドブックにも。

★遠出の旅なら、事前に目的地周辺の天気予報（主要都市の市外局番の後に177）や道路情報（日本道路交通情報センター・全国情報）（☎03-2641-331）も仕入れておくと便利。

★宿泊は、民宿、国民宿舎、国民休暇村、ユースホステルが格安。

★忘れてならない携行品は免許証、お金、工具（特にパンク修理道具や瞬間パンク修理剤）地図、雨具、行程によっては健康保険証や救急薬品、スベアパーツ、下着の替え、防寒具も必要となる。

★マストツーリングなら、共同荷物には分担して携行すると合理的。またお金のことはすべて会計とか修理担当、記念写真担当……などとメンバーが役割を分担して、全員参加で助けあうと印象も格別。

★そして出発前の完全な点検整備、プランや約束の徹底、マナー厳守の安全運転など……鉄則を守って楽しいツーリングを！

ビッグバイクが「ゆとりのツーリング」なら、こちらミニバイクは、愉快で陽気なバイク仲間たちの「気軽なデイスカバー・ツーリング」です。

昨年、爆発的に人気の高まったミニバイク運動会は今年になってますます盛ん。この春もヤマハフェスタを通じて全国のバイク仲間が、ジムカーナに、ミニレースに、あるいはミニトライアルに一日を楽しんだものです。そうした一方では、本格的なバイクシーズンの訪れと共に、さわやかな春風にさそわれて「ちよつと遠くへ行ってみようか」という気軽なミニツーリングを楽しむバイク仲間たちも多勢います。

ましてヤマハからはこの春、ポビイとGRが新発売、七機種そろったヤマハの50ccシリーズは、いろいろな人にさまざまなライフをお届けしています。

「明日の日曜日は天気が良さそうだから、バイクでこの町を探索してみるか、思わぬ所でステキな物が見つかるかも知れないぞ」というポビイとチャビイの若夫婦。

「おい、来週はホリデー・ツーリングとしゃれてみようよ。50ccだって、けっこう遠くまで行けるんだぜ」というRD、MR、TYのヤングトリオ。

またGRとGTの仲良しコンビは「今度の休みは川へ魚つりに行こうか、途中の景色もバツグンだし」といった具合に、その楽しみ方も千差万別。それぞれが気軽に、気ままに楽しめるのが50ccバイクの大きな魅力。

もちろん、そこにはGXやRDによる「ゆとりあるロングツーリング」といった趣きはありません。しかし50ccバイクの軽快さは、重厚な走りの代わりに、小気味のよい走りのフィーリングをもたらし、どこへでも行けるその手軽さは、今まで知らなかったものを発見する喜びをもたらしてくれます。まさに

# われら50c.c.仲間の デイスカバー・ツーリング





こちら花見グループ、満開の桜並木の下、まさにさわやかツーリング

「デイスカバー・ツーリング」です。そして50ccバイクのもう一つの魅力は、そのユニークな個性。ビッグバイクが堂々たる風格を持つていれば、50ccバイクには誰れにでもうちとける親しみやすさがあります。その親しみやすさは、人と人とのコミュニケーションにももってこいのもの。

ここに紹介するのも、ヤマハの50ccバイクを通じて気の合う友だち同志となった愉快で陽気なバイク仲間たちの「デイスカバー・ツーリング」です。集まったお客さまは九人、それぞれ愛用のヤマハ50ccバイクに乗って。ポビー、チャビー、GT、GR2台の5人はお花見に、RD、MR、TY、GTの4人は溪谷美を求めてのワンデー・ツーリングです。

あなたのお店でも、お客さまと一緒に、ヤマハの個性豊かな50ccバイクの持つ大きな広がりの世界を楽しんでみられてはいかがですか。みんな友だち気分楽しいコミュニケーションの輪が広がり、お店のご商売も明るく活気に満ちたものとなります。

お互い「初顔合わせ」も何人か、でもバイク仲間はたちまちとけ合って、友だち気分



こちらは溪谷美を求めて、こんな遠くまで。ヤマハのミニバイクなら山道もなんのその



きみがいて  
ぼくがいて  
ヤマハがあつて……



私たち、いつもは買い物や、友達を訪ねたりするときの足としてバイクに乗っているだけで、こんなに遠くまで来たのってはじめて。自分の運転するバイクで、こんなステキな所にこれるなんて、とっても感激。

私たちは、去年の秋に販売店さんで免許教室をうけて免許をとったんですけど、その時はきょうみもないな素晴らしいツーリングが出来るなんて思っていなかったんです。他の人もミニバイクでこんなに大きく楽しめるなんて考えていないんじゃないかしら。そういう人たちにも教えて上げたいわ、ミニバイク・ツーリングの楽しさを。ミニバイクってただカワイイだけじゃないんですね。小さくても、とってもよく走ってくれるし、私たちの言うことをよくきいてくれて、どこだっけ行きたい所へ行けるし。今度はどこへ行こうかな、なんて考えているんです。だから私たちにあってバイクのない生活なんて、もう考えられないんです。



特集\*走りさわやかニューライフバイク



▶ツーリングの途中、神社でおみくじ引いて。大吉だったかな？ 恋愛運は？  
 ▲どうですか、みんなこの楽しそうなこと



▲美しい自然の中での静かな語りもまた格別  
 ▶「ライディングテクニックではかなわないけど相撲なら……」



ゴレンジャーの仮面をかぶって、ワタ菓子食べて、まさにハッピー・ツーリング



# ちょっと遠出をしてみたい 気分のいい日曜日



ステキな女の子がいるんで、ボクも花見グループと一緒に走ろうかなって、ちょっと考えたんだけど、やっぱり「走り」を求めてこっちのグループでロングツーリングを楽しみました。

ボクは今までなんとなく、ツーリングっていうと大きなバイクで考えていて、今度さそわれた時も、ボクのはミニだから断ったんです。そしたら、50ccだけで行くと聞いて来てたんです。出かける時は、ちょっと心配だったんだけど、ミニでも立派にロングツーリングが楽しめるんですね。今日はすっかり自信持ちっちゃった。

ミニバイクの仲間っていいですね、知らない人ともすぐ仲良くなれるし。今日も、初めて合った人が何



▶「さすがMR!」「やっぱりTYにはかなわないよ」

▼ワラぶき屋根と深い谷川と。ミニバイクで来ました、こんな速くまで



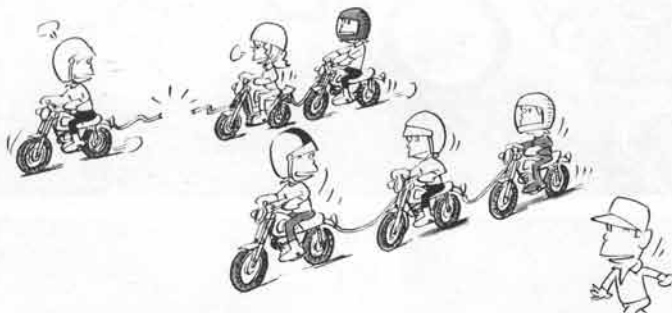
▲「この道はどこへ行くのかな。また何か面白いものが発見できるかも知れないぞ」

▶「そうか、この辺はマス釣り場があるんだ。ボクたちもやってみようか」

人かいたけど、一緒に走っているうちに、何年も付き合っている友達みたいな気がしてくるんです。だからボクの場合、バイクの楽しさっていうと、「走り」はもちろんだけど、バイク仲間がたくさん出来ることも大きな魅力なんです。ステキなバイク仲間を見つけたこともひとつのデイスカパーじゃないかなんて考えているんです。

## ★ムカデ競走★

アベックレースの変形で、バイクを3台か4台ずつ縦に並べて、1.5m位の間隔をおき、前後を紙テープで結びつけ、テープを切らずに早くゴールインするゲーム。途中でテープが切れたら、その場で結びつけて走る。



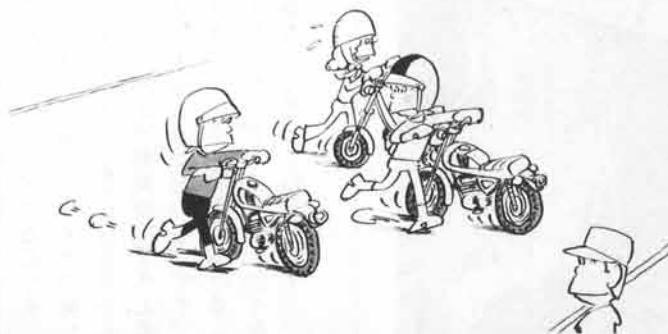
## ★アベックレース★

2台ずつコンビを組み、この2台が横に並んで、1本の紙テープで車を結び付け合い、このテープを切らないように並んで走って早くゴールインするゲーム



## ★後押し競走★

エンジンをかけていないバイクのハンドルを反対方向から持ち、そのままバイクをバックさせて、早くゴールした人が勝ち。



レジャーバイク運動会が各地で盛んに開かれています。小さな広場でも開催でき、だれもが気軽に参加できる安全なモータースポーツとして脚光を浴びているのです。早くからレジャーバイク運動会を主催してきた東京小平市の鈴木輪業さんは「レジャーバイク運動会を活発にすることによって、バイクの楽しさが拡大され、商品の価値が高まります。これによって、以前より長い期間、お客さまを

バイクにつなぎとめておくことができます」と、その効用を語っています。ヤマハでは数年前、レジャーバイクでできる、いろいろな楽しいゲームを集めた「プレイファイル」を刊行して、レジャーバイク運動会の普及に協力してきました。ここでは、プレイファイルに盛り込まれたゲームの中でも、とくに人気のある種目や、フレンド店さんが独自に創造した楽しいゲー

ムを中心に傑作なゲームのあれこれをご紹介します。これをヒントに、もっともっと楽しいゲームを考えて、お客さまに喜んでいただいてください。

**組み合わせ方で興味も倍加**

もつともポピュラーな種目は、遅乗り競走やパン喰い競走、スプーン競走など。安全運転に役立つテクニックにポイントを

おいたのが、一本橋渡りやジグザグ渡り、あるいはスラローム競技。運転技術で勝負が決まるゲームと、運不運に左右されるゲームとを組み合わせると、バイクの運転をおぼえたての人にもチャンスが向いてくるので、みんなでなごやかに楽しめます。

個人競技のほかに、紅白に分かれて、団体戦とするのもよいでしょう。

# レジャーバイク運動会「傑作ゲーム集」

★★★みんなのアイデアで、もつと楽しく★★★

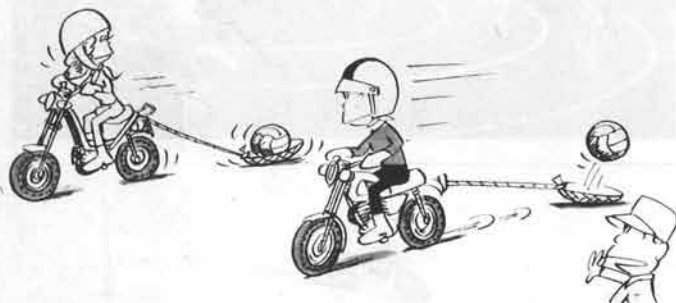
## ★風船割り★

風船を地面において、車輪や足などで割ってゴールインするゲームもあれば、写真のようにヘルメットに取り付けた針で、頭上の風船を割るゲームもある。



## ★ザル引きレース★

浅いザルにヒモをつけて、オートバイの後部に結びつけ、この中にボールを入れ、ボールが落ちないように引っ張りながら走って早くゴールインするゲーム



## ●カン引きレース

ザルではなく、空きカンを引いて障害物乗り越えながら走る。ムリをするとカンをつないだ紙テープが切れて、失格。



## ★やぶさめ(流鏝馬)レース★

バイクを走らせながら、的(まと)に向かって片手でボールを投げ、的を打ち落とすゲーム。一本橋を渡りながら投げさせると、よりむずかしいゲームになる。



## ●玉入れ

的の代わりにバケツなどにボールを投げ入れる。

## ●円盤投げ

投げた円盤がラインの中央寄りに落ちた方が得点がよい。



## ★モトマラソン★

規定タイムに近い速度でコースを回ってきた人が勝ち。タイムがずれるごとに減点する。





新発売 ヤマハトライアル

# TY175



ホワイト

白と赤、ワークスレーサーのカラーリングを踏襲して登場した『TY175』。車の大きさ、性能面で、初心者からベテランまで幅広い需要層をカバーする新商品です。

基本的な構成はTY125に準じますが、排気量のアップによる●出力の増大は、トライアルの世界を大きく広げ、また●自動車専用道の通行を可能として『TY175』の魅力を増しています。『TY175』独自の特徴としては●騒音対策の充実で、エヤクリーナーにダクトパイプを設けて●吸気音を減少、サイレンサーも大型化して排気音の低下を図ってあるほか、エンジンには大型のアブソーバを挿入して●フィン鳴りを防止しています。そのほか前後ブレーキのハブドラムは●シュー点検孔付として安全性を高めました。



## ヤマハトライアルTY175主要諸元

全長	1955mm	最高出力	10.7PS/6000rpm	変速比 1 速	34/11=3.090
全巾	820mm	最大トルク	1.3kg-m/5500rpm	変速比 2 速	32/13=2.461
全高	1125mm	始動方式	プライマリキック	変速比 3 速	30/16=1.875
シート高	750mm	点火方式	フライホイールマグネトー	変速比 4 速	27/19=1.421
軸間距離	1265mm	燃料タンク容量	4.0ℓ	変速比 5 速	23/23=1.000
最低地上高	270mm	オイルタンク容量	0.3ℓ	変速比 6 速	20/26=0.769
重量	88kg	潤滑方式	分離給油(ヤマハオートループ)	フレーム型式	高張力鋼管ダブルクレードル
舗装平坦路燃費	35km/ℓ (50km/h)	バッテリー容量	6V4AH	キャスト	27°30'
ハンドル切角	左右60°	バッテリー型式	6N4B-2A-1	トレール	93mm
制動停止距離	15m (50km/h)	発電機種類	フライホイールマグネトー	タイヤ寸法(前)	2.75-21-4 PR
エンジン	2サイクル・トルクインダクション	発電機型式	F145-56(日立)	タイヤ寸法(後)	4.00-18-4 PR
気筒数/排気量	単気筒/171cc	点火プラグ	B-7ES(NGK)	ブレーキ(前後)	機械式リーディングトレーリング
内径×行程	66×50mm	キャブレター型式	VM22SS(三国)	懸架緩衝方式(前)	テレスコピックオレオ
圧縮比	5.9:1	エヤクリーナー型式	湿式モルトブレン	懸架緩衝方式(後)	スイングアームオレオ
		一次減速(比)	ギヤ(74/19=3.894)	ヘッドランプ	6V25/25W
		二次減速(比)	チェーン(45/17=2.647)	テール/ストップランプ	6V5.3/17W
		クラッチ型式	湿式多板	フラッシュランプ	6V17W
		変速機型式	6段リターン式	各種パイロットランプ	6V3W, 1.5W





## 薫風に乗って

初夏の 明るい日差しをうけて

かげろうがもえる一本の白い道

ゆとりのロングツアラー「GX750」が堂々と走る

人間とマシンと自然とが一体となって織りなす 走りの世界  
薫風を全身にうけて 雄大に走る

久しぶりに味わうこの充実感

遠乗りにきてよかった

たとえ きょう一日の行程は短かくとも

A woman with long, wavy brown hair and a green top is peering through a stone archway. She is looking directly at the camera with a slight smile. The background is a warm, golden-brown color, suggesting an indoor setting with stone walls and columns.

情熱のシニョリーナ

★イタリヤ

欧州大陸から南に地中海の細長い半島として、イタリアはあります。北は氷河と万年雪のアルプスに接しており、南はシチリアで、海の対岸はすぐアフリカです。この北緯36度から47度に位置することが、日本の北海道から九州という北国から南国という状態とよく似ています。南で海水浴をしている時、北では白銀の世界でスキーをしているといっても、決してオーバーな表現ではありません。この



イタリア名物の料理といえばマカロニ、スパゲッティ、ピザが知られているが、海産物も豊富で、果物も美味であり、ワインに、唱にと本番の料理はことのほか楽しい

北と南ということが、今日のイタリアを大きく特徴づけているのです。たとえば、戦後間もなくの頹廃と貧困を描いたイタリアン・リアリズム映画でのイタリアは、現在もなお南部を訪れば見る事ができるかわりに、ローマやミラノなど北部では世界の名車として知られるフェラーリやマセラッティ、ランボルギーニなどに乗った紳士・淑女たちの華麗な姿に圧倒されること



▲古代ローマの権力を象徴する一大モニュメント「コロッセオ」。紀元75年に起工され、80年に開場したといわれる闘技場で、生死をかけた闘士たちの果し合いに5万余の観客がどよめいた跡でもある。ちなみに長径約200m、短径約170m、高さ50m、周囲527mの偉容は現在もローマ最大の建築物として文字どおりコロッセオ(巨大)である

◀歴史の国イタリアを縦横に結ぶ高速道路アウトストラダ。一名太陽道路ともいわれ、日本と同様に有料である

でしよう。イタリアの北と南は、このように富と貧しさの対立という形で表現されています。しかしながら、この貧富の対立という重大問題を抱えながらも、今日のイタリアはラテン系の国特有の陽気さと楽天的な性格から生み出されるエネルギーによって、燃えるような太陽の光の中で、南北同居し合いながら息づいているのです。

イタリア人といえば太ったカミさんとジャンパー姿のオヤジさんが、街頭でオペラのよう到大声を響かせながらケンカをしている光景が、何となく思い浮んできますが、陽気で騒々しく、一本気でいて、ちよっぴりメランコリーな性格こそ、典型的なイタリア人気質なのです。

彼らは手で話すときよく言われますが、まったく彼らの話す時、それも夢中になった時の激しさは驚くばかりです。日本人から見ると、同じ音と所作であっても、きつと能とオペラほどの差があるように感じることでしょう。彼らにしてみれば、口だけで、手ぶりも身ぶりもない日本人は、感情を持っていないのだらうと思うに違いありません。謙譲の美德などという習慣は、彼らイタリア人にとってはつまらない遠慮でしかありません。

ヨーロッパの国々の中では、イタリア人は比較的背は低く、われわれ日本人と大して変わりありませんが、その他にも髪の色とか、皮膚の色など似た面も多いようです。とはいえ、同じ黒い瞳でもイタリア女性のそれは、妖しい輝きを見せ、エキゾチックな魅力を漂わせています。明るい太陽の下で快活に生きる彼女たちは、開放的かつ情熱的で、貧しい生活でありながらも楽しもうとする意欲からは、強ささえ感じるほどです。

「すべての道はローマへ通ず」とは昔から伝えられている言葉ですが、イタリアは世界の文化の通り道として発展を遂げてきただけに、ヨーロッパの博物館ともいえるべき汲めども尽きぬ魅力を秘めています。そして、今なおイタリア文化は世界的に強い影響を与え、音楽をはじめ絵画、彫刻、映画、ファッション、商業デザインなどにおいて幅広い活躍を見せています。ドカッティやアグスタ、モトグッチ、ランプレッタ、ベスバなど、イタリアの誇るバイクやスクーターの洗練されたデザインも、このような長い歴史のなかで生み出されているのです。

写真提供・オリオンプレス  
イタリア政府観光局

春のヤマハまつり

これからの商戦に、  
いかに生かすかこの成果

# 「ヤマハフェスタ」総決算



バイクシーズンのスタートを大いにもり上げたフレンド店々頭の積極的な販売促進活動から、日本全国七〇カ所以上の会場でにぎやかに開催されたヤマハフェスタまで、76年商戦の大きな布石を果した。76春のヤマハまつりもいよいよ終盤。特に期待の新商品も加えて豊富なヤマハラインナップを見て、さわって、楽しく乗っていただいたヤマハフェスタには、お客さまの反響もひとさわ大きなものがありました。

さあこれからは「この成果をもとに、より積極的なご商売を」という時期。商圏の特長を活かした各地のヤマハフェスタから、今後の展開に賭けるフレンド店、特約店、営業所のみなさまの姿を追ってみました。

〔なお、今回とりあげたのは下記七会場でのヤマハフェスタです〕

- 仙台・横山輪業商会主催、会場・仙台市卸町会館駐車場、三月二十一日
- 東京・ヤマハ発動機城南営業所主催、会場・品川区大井競馬場駐車場、三月二十八日
- 三重・(株)第一自動車主催、会場・津市第一カートランド三重、三月十三、十四日
- 福井・ヤマハ北陸福井営業所主催、会場・福井営業所ポート展示場、三月二〇、二十一日
- 京都・ヤマハ大洋主催、会場・京都市デルタ四条自動車教習所、三月二〇、二十一日
- 京都・山科フレンド店会主催、会場・京都市山科スーパーマーケット前、三月十三、十四日
- 高松・ヤマハ発動機高松営業所主催、会場・ヤマハ志度工場グラウンド、三月十四日



▶ 「存分に見て、さわって、乗って高性能ヤマハをお確かめください」展示車も60台以上のほった第一カートランド三重会場。

▲ GR、ポビィから話題のGX750までフルライオン・ヤマハを展示し、ヤマハショーといった感じ。お客さまともども新商品知識の吸収に積極的なフレンド店さんも目立つ(東京・大井競馬場第5駐車場会場)

▼レジャーバイク運動会のあい間をぬって、好みのバイクの徹底研究(仙台・卸町会館会場)



▲中学生も多数モトバイクで参加。「16才になったらヤマハに乗るんだ」とバイク仲間ともども楽しむ姿が確実な需要のひろがりを感じさせる。(仙台・卸町会館会場)



▶70台近い展示車につきつぎとまたがってみる若者たち。みんな相当なバイク通(京都・テルタ四条自動車教習所会場)

▲雨と雪にたたられたもののお客さまの関心は高く、5月からは配送車を利用した移動試乗会のプランもあるヤマハ北陸・福井営業所。

## 見せる、さわらせる、乗せる 「三せる」運動が高めたフェスタの成果

ヤマハフェスタ最大の目的は、いうまでもなくヤマハバイクをよく知っていただき、そのすばらしさを肌で感じとっていただくこと。このために、どの会場でも76新車発表展示会、新車試乗会に力が注がれていました。

特に一月のGR50/80からXT500、ポビィ50/80そして注目のGX750/500、RD400/250/125と期待のニューバイクが相ついで登場した後だけに、お客さまの関心も高く、さながらヤマハ・モーターショーの感さあつたほどです。

「商戦立ちあがりのこの時期に、お客さまはもとより、お店のみなさまにもいち早くヤマハニューモデル群をじっくりご覧いただき」とGX750からGR50まで全ニューモデルを展示した東京大井競馬場第五駐車場の会場では、七百名近いお客さまを送り込んだフレンド店さんも二〇店以上が来場。

「現状は50ccが中心ですが、これからは大型車のウェイトも高まる。バイクに対する知識も相当高まっている若いお客さまにも、十分納得いただけるだけの商品知識を持たなければ。特にGXにしろ、RDにしろ私の期待を上まわる魅力の商品ですからね。自信を持ってお客さまにおすすめるためにも」トミサイクル・小田敏生社長(千代田区麴町)

## 需要の顕在化を早めて評判の レジャーバイク運動会

にぎやかな中にも地道なセールストークが展開されて成果をあげた76新車展示会、試乗会と合わせて好評を博したのが同時に開催されたレジャーバイク運動会です。これは、バイク本来の機動性や手軽さとともに安全で楽し

というように、積極販売へのキメ手である十分な商品知識の吸収につとめてきましたがこうした機会を接点としたお客さまとの交流は効果も高く、主催したヤマハ城南営業所の「フェスタ以降は、特に大型車を中心に予約注文が急増し、早くも三〇台近くのはつている」という言葉のように、早くも大きな成果を表わしています。

また同じように新車展示と試乗にポイントを置いた京都市・テルタ四条自動車教習所会場(ヤマハ大洋主催)や同じく京都市・山科会場(山科フレンド店会主催)では、京都中心部への通勤者の新興住宅地という市場特性を背景に、若い女性や主婦がチャビィやポビィにまたがる姿が目立ち、新しい需要層の開拓に大きな期待を抱かせたものです。

さらに二日間で六千五百人という記録的なお客さまを集めた高松営業所管内の六店連合展示即売会(高松国際ホテル脇のボーリング場跡)でも、用品部品からGX750/500、RD50そしてチャビィやメイトは各四台という契約がその場で成立するなど、いまさらながらに「見せる、さわらせる、乗せる」というアプローチが、いかに大切なことであるかを示した各地のヤマハフェスタであったといえるでしょう。

バイクの世界を知っていただくためにも入り込まれた企画で、規模の大小こそあれ、ほとんどの会場で開催され、新車展示会や試乗会が新しい需要層導入の糸口として効果をあげていたのに対し、現ユーザーやホットPPの



▶ 完備した環境の中で、運動会に興じる若者、展示車に釘づけにされた人、試乗車にいつまでもまたがったままの人……ヤマハフェスタはニューファミリーの行楽日、というほど親しまれた（第一カートランド三重会場）



▲「思う存分走りまわる一日を」特に展示・試乗会と切離して行なわれた高松営業所のレジャーバイク運動は、今後も継続開催される。

◀仙台では、さらに趣向をこらして運動会参加者の愛車と服装のファッションコンテストも

関心を大いに高めたものです。

例えば三重県津市の第一カートランド三重会場（第一自動車主催）は、当初から「会場のPRを兼ねながら、最高の環境のもとでバイクの手軽さ、楽しさを存分に味わっていたきたい」

また、ヤマハ志度工場グランド会場（高松営業所主催）も「企画段階から参加していただいた傘下フレンド店さんの要望もあつて展示会は多くの人に接触する機会を増やすために街中で、レジャーバイク運動会を思いつ切り走れる会場で」

といずれも焦点を絞って開催され特に若いお客さまの人気を集めました。当然こうした傾向のフェスタでは当初のPRから「週刊仙

## 集中的なアフターフォローでフェスタの成果を販売に

さて、こうしてさまざまな面で成果を納めた'76ヤマハフェスタですが、今後の課題はいうまでなく、これを足場にどう拡販に結びつけていくかでしょう。

「こうした企画は、全国的なキャンペーンの一環であるなにかかわらず継続的につけていきたい、フレンド店さんもわれわれ特約店も回を重ねることで自信がつき、それが潜在需要を掘りおこすのです。もちろんお店独自の企画でなんでもとんとんやってほしいですね」株・横山輪業商会・佐藤明男専務

「当日お客さまに記入していただいたアンケートを商圏ごとに、フレンド店さんにフィードバックしました。これをもとにDM発送や訪問セールスなど確率の高いアフターフォローをお願いしています。現実に需要期と重なっていますので、50ccを中心にフェスタ後の販売は着実に伸びを示しています」（第一自動車株・四日市店 近藤勇店長）

台と東北放送の深夜ラジオスポーツで中高校生を中心にPR（横山輪業商会・仙台町町会会場）「下校時の高校生にチラシを配布したり、フレンド店のお客さまを通じて仲間への口コミPR」（第一自動車）といったように対象も明確なだけに効果も読み取りやすいものです。実際フェスタ当日も仙台の例では「参加者の98%がローティーン、しかも免許年齢に達していない中学生が約半数を占め、彼らはモトバイクで楽しんでいましたが、バイクに対する知識も高く、ほとんどの人が16才の誕生日を待ちわびて免許取得を目ざしている」というように確たるバイク予備軍の健全な育成に大きな役割を果たし、こうした潜在需要の顕在化に拍車をかけています。

というように主催した営業所、特約店の今後の期待は特に大きなものがありますが、実際フレンド店さん側でも、

「フレンド店会の合同主催ということで、横の連携がより一層強まっている。今後も一致団結して拡販に取り組もう」（山科フレンド店会）「キャンペーンの成果はそうすぐに表われるものではないが、こうした催事を通じて売上げが伸びることは確実に過去のデータが示しています。すでにGX750、GX500の予約も受けていますし、チャビィが昨年のミニGTにつづくヒットの兆しを見せています」（高松・スポーツショップ・ユアサさん）

というように、この'76ヤマハフェスタの成果を集中的なアフターフォローによって確実に販売に結びつけようという気運が大いに高まっており、春から初夏にかけの需要期だけに大きな期待が寄せられています。



# 正々堂々、大型車の需要創造を!



## ●廣西 廉彦 (ヤマハ神奈川(株)横浜営業所)

昭和21年2月生まれ、30歳。北海道札幌市出身。46年早稲田大学を卒業、同年9月ヤマハ発動機(株)東京支店に入社。研修後、ヤマハ神奈川(株)横浜営業所に配属となり、オートバイ営業を担当、現在は、営業主任として戸塚・港南地区を舞台に活躍中。

からだ全体が「ガッツ」のかたまりとはこういう人をいうのだろうか。鋭い眼差し、精悍な顔つき、小柄ながらスポーツマン特有のガツシリした体軀から溢れるエネルギーは、会う人びとを圧倒する。氏の担当する戸塚・港南地区は、とくに大型車の販売実績を誇っているが、今回は大型車市場の動向と、販売の方向性について語ってもらった。

「昨年十月の免許制度改正は、確かに大型自動車二輪免許の新規取得者に少なからぬ影響を与え、神奈川県でも月平均百人中二、三人という合格率を示しています。しかし、このことだけで大型車の需要が落ちたとみるのは早計でしょう。」

改正前に比べれば、確かに大型車に乗りにくい状況になっていますが、逆に大型車に対するユーザーの期待は昨年のモーターショーを見てもわかるように年々高まっており、今やバイクの世界においても「ゆとりのある走り」に對するあこがれが強まっているとみていいでしょう。

大型車の販売とともに必ず引きあいに過ぎ

れるのが暴走族の問題ですが、私としては昨年のマスコミのキャンペーンはかえって良かったとさえ思っているんです。これだけ徹底的にたたかれたということは、考え方によってはもうこれ以上ダウンはないということであとは本当の意味でバイクに對する正しい認識を、社会に広めていけばいいんですから。大型車の事故にしても、決してバイク自体に罪があるわけではなく、むしろバイクを操作する乗り手の無謀運転が事故原因の約九割を占めているので、安全運転推進活動をさらに徹底させて、乗り手の安全運転指導を行なうことが先決です。

50ccでの女性層の進出は、社会のバイクに對するイメージを変えようという意味で大いに役立っていますが、お店でも日頃からバイクとともに安全を売ることが心がけ、バイクの持つ手軽さ、便りさ、爽快さ、効用性等を積極的に訴えて、バイクに對する社会の誤った認識を変革しなければなりません。

乗り手の人間性や安全知識はもちろんです。さらに事故経歴などを見きわめた上で適切な販売を行なうとともに、ヤマハ安全運転指導員として地域の交通安全運動に協力する





# 近時片々 セールスマン発言

廣西さんの精力的なセールスぶりは、販売店さまの間でも評判(鎌倉市・山本商会さんにて)。



など、地域社会の信頼をかちとめることは、お店のイメージアップにもつながり、今後のご販売にもプラスになると思われます。

常に目標を設定し、自らの置かれている状況を把握し、計画性をもって行動することは私達セールスマンにとっても販売店さまにとっても同じことです。私の担当している販売店の皆さまには、「売れている時に考えろ/売れていない時は行動しろ/進め/」といつもハッパをかけさせていただいているんですが、「目標」と「実行」と「反省」は、ご商売される上ではとくに大切でしょう。

今回新発売された3気筒・DOHC・シャフトドライブの〈GX750〉の販売についても、大型車の購入希望者を対象としたDMや商品説明会の開催など、お店独自の積極的なアプローチを図ってください。お店の商品に対する信頼があればこそ、お客さまの心も動かせるので、事前に商品知識を高める勉強は充分に行なっておく必要はあります。

〈GX750〉は、あらゆる面で魅力のある商品といえますが、その洗練されたスタイリングは必ずやバイクファンの心を捕えて離さないでしょう。ハイウエーなどでのロングツーリングを意識した設計は、一段と高速時での走行フィーリングを高め、これがお客さまへのセールスポイントになるものと思われれます。メインテナンスフリーのシャフトドライブ採用、騒音公害対策の一環として開発されたアローバイガス還元装置及び集合マフラーなど、これまでの大型車に対する社会の誤った認識を一新するにふさわしい商品です。

本格的なバイクシーズンを迎え、ヤマハの新車群もほぼ出揃った現在、ともに正々堂々と大型車の需要創造に力を合わせて頑張ろうではありませんか!」



このステキな笑顔がお店を一段と明るくしています



## 日曜日だけは子供のサービステーに

溝渚美恵子さん (有)亀命商会 溝渚憲活氏夫人

創業以来まだ10年程の「亀命商会」さんは、今では高松市内に2つのお店を持ち、社員も6名という大型店です。

溝渚社長が「うちのスタッフは最高ですよ」と自慢するのにもなるほどこうなすけたのは、

編集者がお店を訪問したとき。気持ちよく整頓された広い店内で社員の人たちがキビキビ働き、お客さまへの対応も行き届いています。ラジオやテレビを使って積極的なPR活動をしている「亀命商会」さんには、以前に工業

デザインの勉強をした奈良崎さんという宣伝企画担当者までいます。

この「最高のスタッフ」の中にあつて、経理担当重役として、文字通り溝渚社長の良き女房役を務めているのが奥さまの美恵子さん。ご主人が昭和18年生まれの32才なら、奥さまもまだ30才になったばかり。ご覧のように明るく、ほがらかな美しい奥さまで、とても後述するようなご苦労をなさって来たとは思えません。

「社員の方がよく働いて下さるので、今でこそセールスや納車などで外に出ることは殆んどありませんけど、主人が今の仕事を始めた頃は2人だけでしたので、私も始終外回りをしていました。特に子供ができた時なんか本当に大変でした。ひどい時には、上の子をおんぶして、次の子供が生まれる前の日までバイクに乗って飛び回ったり……」

そのお子さま達も今では、上の2人の女の子が小学校2年と1年、下の男の子が3才とようやく手のかからない年頃になりました。「こどもは子供が小さいぶん厳しくしつけていて、掃除でも食事の後片づけでも、自分の事は全て自分でさせるようにしています。こちらが楽になるというより、結局あとあと本人のためになることだと思っんです。そうは言ってもまだまだ子供ですから、学校から帰ってから母親と一緒にいられないというのはかわいそうですね。幸いオバアチャンがとてもよく子供の面倒を見てくれるので大助かり

## 新商品のご案内

しやれたデザイン  
能率アップ

セパレート型

# ディーラーユニフォーム

店頭がお店のひとつの顔なら、皆さまの着られるユニフォームもお客さまにとってお店の印象を左右する大切なファクターです。それぞれ男性用、女性用が用意されたA型、B型2種類のディーラーユニフォームは、単に安全性、機能性だけではなく、デザインや色彩もスッキリさせ、皆さまと店のイメージアップにも十分お役立ていただけるものとしています。両種類ともに上衣とズボンのセパレート型で、サイズもLL、L、M、Sと豊富。またシワにならないポリエステル65%、綿35%の軽さはどなたにも能率よく働けるものとしています。部品部からの新商品ご案内でした。



### ●A型

色は白、襟とポケット口はブルーのアクセント。男子用前立てはボタン、女子用はファスナー付き。



### ●B型

色はステキなベージュ。男子、女子用ともに前立てはボタン。

です。私も日曜日だけは子供のサービステアに  
にしているんです」  
二三年前、ご主人は自ら改造したDTT1  
で盛んにモトクロスに出場。そんな時は日曜  
日毎にお子さんを連れて応援に。

「うちの人は、自分でも言っているように、  
何をやっても人より前に出たがる性格で、モ  
トクロスなんかびびったりみだいですね」  
そこでご主人のお話をもう少し……。  
そばにいらるから話にくいわネエ。私たち、

「考え方が大きいので、私はおほろげながら  
ついて行くだけ」  
そこには信頼感と、そして安心感が強くう  
かがえました。



最高のスタッフ。奥さまの隣りが溝淵社長、前列一番左は高松営業所の小坂担当主任（「西宝町店」で）



用品、部品類も豊富な「観光通り店」

あるサークル活動を通じて知り合ったんです  
が、うちの人はとても女性に親切でプレイボ  
ーイだったのかしら、当時は回りの人に「溝  
淵さんだけはよしなきいなんていわれました。  
でも私は、主人の心の大きさにひかれたみた  
い。身体もそうなんですが、考え方も大きい  
んです。私生活の面でも仕事でも」  
このことについては、ご主人のお子さんに  
対する次のようなお話からもうかがえます。  
「一番下の子が男なので、よく人から『将来、  
お子さんが後を継がれるわけですか』なんて  
聞かれるんです。でも私は、この店を更に大  
きく出来る人がいたら、今すぐにもその人  
と代ってもいいと考えてる位で、息子を後継  
ぎになんて今は少しも考えていません」  
この言葉の裏には、並々ならぬ溝淵社長の  
自信が見受けられました。このことを聞いた  
後の奥さまの言葉は印象的でした。



NEWS \* TOPICS

ニュースピックス

☎05383-2-1111 内線355

こちらヤマハ発動機PR課です

お電話でも、おハガキでも、お気軽に、楽しい話題、明るいニュース、これほと思う情報をお知らせください。本誌へのご要望、ご質問、ご相談もうけたまわります。原稿・写真のご投稿も大歓迎。宛先は〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社営業部PR課までどうぞ。ニュースの内容によっては編集部員が取材におうかがいたします。

全日本モトクロス選手権第2戦関西大会  
瀬尾、実力発揮の  
総合優勝 250

'76全日本モトクロス選手権シリーズ第2戦関西大会は3月20、21日、昨年と同じく神戸市の川谷山特設コースで行われた。

谷田部のオープンニングレースが、いかにも春らしい穏やかな天候のもとで行われたのに対し、この両日は時々小雪も散らつくという、彼岸とも思えぬ寒さに見舞われた。しかしこの悪天候にもかかわらず、連休ということもあり、地元を中心に熱心なファンが多く詰めかけ、選手達のハッスルプレーと相まって、いかにもモトクロスらしい盛り上がりがあったものとなった。

21日に行われたセニア250ccで、瀬尾勝彦は実力を十分に出し切ったこのクラスにおいて、久々の総合優勝を飾った。

セニアはいずれも30分12周の2ヒート制。250ccの第1ヒート目、まず飛び出したのは新人の福本敏夫(カワサキ)、野宮修一(カワ)



鮮やかなライディングフォームで最終カーブを攻める瀬尾勝彦

続いて増田耕二(スズキ)、瀬尾は的場平(ホンダ)に続いて5番手。しかし3周目に2位に上がった瀬尾は、キャリアに物を言わせて次の周には早くも新人の福本をとらえた。こうなればあとはもう地方で大いに勝る瀬尾のもの。福本が新人らしい思いきったレース展開で必死に瀬尾を追ったが、瀬尾は危げなくトップでゴール。3位には手首のケガが治ってきた杉尾良文が入った。

第2ヒートはスタートから竹沢正治が地元の利を生かして独走。しかし竹沢は第1ヒートでは、エンジントラブルにより14位に落ちているので総合優勝の可能性はなく、興味は瀬尾、福本の総合優勝をかけての2位争い。瀬尾はスタートで出遅れたものの、後半よく追いついて2位となり2年ぶりの総合優勝をものにした。またこのレース、杉尾は鈴木都良夫に続いて4位に入り、7位に落ちた福本敏夫を抜いて総合2位に浮上した。

瀬尾、杉尾は125ccでは1、2位を野宮修一、竹沢のカワサキコンビにとられたが、それぞれ3位、4位に入り、心身ともに充実した所を見せた。

全日本モトクロス選手権第3戦山口大会

ヤマハ、完璧の勝利  
セニア勢、両クラス3位まで独占

4月11日、昨年と同じく山口県の西日本サーキット(旧厚保サーキット)で行われた全日本モトクロス選手権シリーズ第3戦で、ヤマハ勢は、セニアの両クラス3位までを独占するという大勝利を収めた。

このコース、昨年は山の斜面に作られ、かなりの起伏があったが、今回は一転して観客の見易いように極めてフラットなアメリカンスタイルのコース作りがなされた。しかし路面は極端に固い所と、田んぼの様にぬかるんだ所が混在し、これに加えてのコース幅の狭さと全長約1kmという短かさが選手の走りにくさ、特に追い越しずらさを倍加させた。この困難な条件を克服したのが杉尾良文、



観客の注目する中、安定した走りで見事逆転優勝した杉尾良文

鈴木都良夫、瀬尾勝彦、東福寺保雄のヤマハカルテットで、250ccは杉尾、瀬尾、東福寺、125ccはトラオ、瀬尾、杉尾の順でゴール、ヤマハ強しの感を強くアピールした。中でも、両クラスとも最後方からスタートしながら他車を次々にゴボー抜きした杉尾の群を抜く鮮やかで安定した走りは特筆に価するものであった。250ccでは、今年好調の竹沢正治(カワサキ)が2、3周目で早くも大きくリード、ヤマハ勢はいずれも後方からのスタート、まして前述の様なコース状態だけに「これは竹沢のものだ」の声も上がった。しかし今年のヤマハ勢は速さにねばり強さが加わっている。中盤までに2位に浮上、竹沢を射程距離にとらえた杉尾は、後半その差を一気に詰めた。こうなると安定感に勝る杉尾のもの。竹沢が転倒したスキにたちまちセフトイリードを確保した。この間に瀬尾と東福寺も杉尾にリードされるように浮上、それぞれ2位、3位に入った。



新たにロックセクションを加えたトライアルコースでウデを競うトライアル仲間(上)とプロダクションレースも組まれたモトクロス



## 早くも盛況! 菅生のモータースポーツイベント

125ccはトラオの独壇場。序盤戦、314番手をキープしたトラオは6周目あたりでトップに立つや、後はマイベースの快勝、瀬尾と杉尾の猛烈な追い込みも通じなかった。EJでは第1戦で活躍した弱冠18才の光安鉄美が、ニューYZで再び大健闘、250ccではわずか2m差で2位だったが、125ccでは見事優勝、その実力の程は早くも「来年は東福寺に次ぐティーンエイジ・セニアか」の声もちらほら。

「スポーツランド菅生」五月のゴールデンウィークには「オープン1周年記念ウィーク」としてモータースポーツから野外スポーツ、ミュージックまで多彩なイベントが開催される。スポーツランド菅生は、本格的なシーズンを迎えて日一日とにぎわいを増しています。こうした中で、モータースポーツを愛好するバイク仲間は遅い春の訪れを待ちきれず、三月、四月と早ばやと教室や競技会に汗を流しています。

写真は一〇〇余名が参加してテクニクを競いあつた東北トライアル選手権と、一三〇台を集めて行なわれたモトクロスの宮城県選手権第一戦ですが、特に今年の菅生のモータースポーツイベントは、より多くの方に楽しんでいただくとうとミニバイクやレジャーバイク、プロダクションマシンによる競技会や教室に力が注がれ、早くも若者たちに好評を呼んでいます。

## 高まるカート熱

### 北と南に専用コース誕生

SLカートクラブによる'76SL杯カートレースシリーズは、日本全国で12のシリーズ戦が着実に愛好者をふやしながら展開されています。

中でもここ北海道シリーズは、全国でも最も多い十三戦のシリーズを組んで若いカート仲間の人気を集めています。これは昨年までの大和ルスクートコースに新たにセキポランドのコースが誕生し、会場にも恵まれたことが、北海道カートブームの大きな原動力となっているのです。

札幌市白石区厚別町のセキポランド内に設けられたこのコースは、全長こそ五八〇mというショートコースですが、立派なカート専用コース。公園、池そして夏にはバーベキューガーデンも設けられる家族ぐるみの憩い場の中にあり、札幌中心部から車で15分たらずという交通至便なこともあって、カート人口増加に大役を果たしているのです。六月にはピットハウスも完成し、いよいよ



お客さまとおそろいで、  
お出かけください! 5月の菅生へ

5月5日まで  
スポーツランド菅生「オープン1周年記念ウィーク」



### オープン1周年記念ウィークの主な催し物

- 5月1日 オリエンテーリング大会
- 5月2日 プロダクション・ロードレーシングスクール
- 5月2-3日 菅生お祭り横丁  
'76ゴールデン・カートレース  
ハングライダー・デモンストレーション  
ジャンボ熱気球 (5日)
- 5月3日 第2回グリーングラスコンサート
- 5月5日 ひらけノボンキッキ菅生ショー

5月、さわやかな風、さわやかな新緑につつまれてスポーツランド菅生では、オープン1周年記念ウィークがひらかれます。

家族で遊べるスポーツランド菅生にびったり

バイクファンのヤングからご家族づれまで、そろって楽しめるもりだくさんのプログラムです。特に5月3日の第2回グリーングラスコンサートは「吉川団十郎とおしゃべりコンサート」として浜田良美、海援隊、はしだのりひこ他の人気タレントも登場。また5日のひらけノボンキッキ菅生ショーは子供の日にふさわしいお子さま向けの特別企画、どうぞご期待ください。

### その他の菅生カレンダー

- 5月9日 SCCミニバイクロードレース
- 5月16日 ロードレース日本選手権第3戦
- 23日 SCCモトクロス第2戦
- トライアル宮城県選手権第2戦
- 30日 プロダクション・ロードレーシングスクール



# ほんとうに 大切にしていますか？ 女性のお客さまを。

バイクでニューライフの浸透とともに、ますます増加の傾向にあるのが、女性ユーザー。これは都市部、新興住宅地、地方郡部など商圏の特性にかかわらず、全国的な傾向で、各地のフレンド店さんのヤマハ原付免許教室でも依然と女性受講生の数が圧倒的なことから今後も大いに期待されることです。

それだけに大切にしたい女性のお客さまですが、はたしてお店では、本当に女性のお客さまを大切にしていますか？

若者にくらべ来店店の機会も少ない女性層、またいかにつよくなつたとはいえ、若い男性の多い中にはとび込みにくい女性ユーザー。それだけに細やかな気のくばりが求められるのです。

フェスタの会場で、どうしてもまたがってみたいのだけ……という女性の姿もずいぶん目についたものです。こんな時にこそ、「簡単ですよ、さあどうぞ」というお店のご主人のさりげないひとことがあれば、またバイクに対する疎遠感も一気にふっとんでしまうことでしょう。こうして、キツカケをつくり、楽しいバイクのある生活に導いてあげることは、とくに女性ユーザーに対しては大切なことといえるでしょう。



## 開店一周年で

## ミニバイクレースを開催

開店一周年を迎えた兵庫県明石市の宇佐見自工さんでは、三月七日「開店一周年記念ミニバイクレース」を行いました。

当日は天候にも恵まれ、豪華トロフィーほか、たくさんのお賞品が用意されたところ、地元明石市のヤングはもとより神戸、加古川からのエントリーもあり、約60台のミニバイク仲間が集まり、パン喰い、スラローム、遅乗り、アベック、50cc/80cc耐久など10種目の競技に熱戦が展開されました。

完備したカートコースとなりますが、カート仲間ばかりでなくバイク仲間でも話題となつて、ここでレジャーバイク運動会を……という企画も進められています。  
一方、南の九州でもカート熱は急上昇。地元のカートファン待望のカート専用コースが作られました。  
別府市東山に出来た「志高ユートピア」は全長500m、最大直線長90mというもので、3月14日に始まったSLカートレース九州シリーズもここを会場に行われています。  
また、「志高ユートピア」ではレース以外にもカート講習会も開かれ、九州でのカートの普及に大きな力となっています。



▲集まったバイク仲間は総勢60台  
◀スラローム競技にトライする女性ライダー



表彰式では一人て数本のトロフィーを獲得した精鋭や、1位から5位までを独占したエキスポズクラブ(神戸市垂水区)、アベック競走、スラロームで健闘し、みごと特別賞を獲得した大阪・豊中の女性ライダーなど、それぞれに大きな拍手がおくられました。  
主催者の宇佐見社長は「みなさまのご協

力により、開店一周年でこうした楽しい催し物が開催できたことを感謝します。ケガもなく、沢山の参加者に喜んでもらって本当に良かった。トロフィーはうちのお客さま以外のひとにとられましたが、あれだけ喜んでもらったのだから少しも惜しくはない。この次にはぜひ頑張ってもらいましょう」と、予想以上の人気にご満悦でした。(ヤマハ兵庫・田中)

## 九州で「赤とんぼニュース」発行

全国各地でブームを呼んでいるミニコミですが、このほどヤマハ発動機九州支店から安全運転の思想普及の一貫として「赤とんぼニュース」が創刊されました。

年間四回の発行を予定しているこのニュースは、ユーザーはもちろん販売店、警察等の官庁関係を対象としてつくられたものですが、タブロイド版・一色・四ページだでの新聞タイプで、その内容は主に九州地区の安全運転推進活動やバイクのイベント紹介、安全運転の基礎知識等で構成されています。

編集を担当されている九州支店普及係の鈴木さんは、「全国的な情報誌とはまた違った味、いわゆる九州独自の地方色を持ったドロ臭いローカルニュースを、どしどし掲載していきたい。販売店さんやお客さんをはじめ安全運転推進活動にたずさわる多くの人達とのコミュニケーションをより強め、バイクへの正しい認識を高める役割を果たしていきたい」と抱負を述べていました。



# 大きく広がる

## バイクでニューライフ

テレビ番組の提供につづいて、雑誌広告でもヤマハの緻密なPR活動がつけられています。ご覧のように、専門誌をはじめ一般週刊誌、男性週刊誌、女性週刊誌、女性月刊誌に、『バイクでニューライフ』の提言が行われています。それぞれの媒体別に、読者層を考えて構成されたこれらの広告誌面は、訴求効果を最大のものとして新しいお客さまをみなさまのお店にむすびつけると共に、バイクのよき理解者を増して、『バイクでニューライフ』の世界を大きく広げています。



専門誌広告



一般週刊誌広告



男性週刊誌広告



女性週刊誌／女性月刊誌広告

うれしい  
グッツィンヨル  
のびのびサイクル。

**YAMAHA** クッションバイク\*20

**CUSHION BIKE \* 20**

ヤマハ・クッションバイク20。前後のしゃりんにクッション(ばね)がついて、どんな道でもらくらくはしれる。げんきなきみたちのしてんしゃかうまれた。

新発売

ヤマハがとくべつにつくったラッパ式ホーン。

ハンドルはにぎりのところまでオートパイソつくりだ。

オートバイのようにクッション(ばね)のついたしゃりん。じゃりみちや、でこぼこみちでも、らくちん、らくちん。

太さ4.4センチもあるタイヤ。よこの文字がかっこいい。

ブレーキは強力なドラムブレーキ。

お子さまに、うれしい自転車が生まれました。前後の車輪にクッションがついた、全く新しいタイプの5才~9才用サイクルです。ロードホールディングのよい1 $\frac{3}{4}$ インチの太いタイヤとあいまって、少しぐらい凹凸や段差があっても、ラクにしかも安全に走れます。さらに、制動効果では定評の強力ドラムブレーキ。頑丈なチェーンケースとブリッジ付きハンドル。ソフトなドロヨケなど、すべて安全設計。ヤマハ・クッションバイク20。お子さまに安心して与えていただけるサイクルです。

お父さま  
お母さまへ

ながくてすわりやすいバナナタイプサドル。

リヤバッグ。きみの大切なものを入れておこう。

うしろのしゃりんもクッションつき。のりごごちはさいこうだ。

ブレーキは強力なドラムブレーキ。

しゃりんとおらがいらすんば、ひろはてのりましよう。